

# 時間生物学講座

アショフ・ホンマ記念財団では、2022年4月より、本間研一北海道大学名誉教授による時間生物学講座をZoom形式で開催中です。時間生物学の初学者向けに、この分野の研究者必読の古典論文をやさしく解説するものです。詳細は、以下リンクをご参照ください。<https://aschoff-honma.wixsite.com/kouza>

## 【第一部 ピットンドリックを読む】

2022年4月4日～7月25日、月曜日 朝7時30分～8時30分

時間生物学の基礎を築いた C. Pittendrigh と S. Daan の名著

「A functional Analysis of Circadian Pacemakers in nocturnal rodents」

(J. Comp. Physiol. A, 106:223-355, 1976) を中心に、15回にわたって Pittendrigh の学問を解説します。

- 第1回 4月4日 フリーラン周期の安定性
- 第2回 4月11日 フリーラン周期の履歴現象
- 第3回 4月18日 位相反応曲線の多様性
- 第4回 4月25日 位相反応曲線とフリーラン周期
- 第5回 5月9日 フリーラン周期の恒常性：重水
- 第6回 5月16日 フリーラン周期の恒常性：連続明
- 第7回 5月23日 アショフの法則と速度反応曲線
- 第8回 5月30日 リズム同調（1）
- 第9回 6月6日 リズム同調（2）
- 第10回 6月13日 スケルトン光周期
- 第11回 6月20日 概日ペースメーカーの時計特性
- 第12回 6月27日 スプリット現象
- 第13回 7月4日 ペースメーカーの機構：多数の結合した振動体
- 第14回 7月11日 ペースメーカーの機能：地方時刻と季節
- 第15回 7月25日 ピットンドリックのその後の理論展開と今日的意義

※ 受講申し込みは、講座開始も可能です。

## 【第二部 アショフ・ウェーファーを読む】

2022年9月5日～12月26日（予定）

ヒトの体内時計を発見した J. Aschoff/R. Wever の時間隔離実験室を用いた研究を、「The Circadian System of Man – Results of Experiments Under Temporal Isolation」(Springer-Verlag, 1979) をテキストとして、15回にわたり解説します。